

気象講演会

「身近に潜む気象災害」

—突風のメカニズムと進化する防災気象情報—

日本でも“竜巻や突風災害”が顕在化。突風はなぜ起きるのか？
突風の種類によりメカニズムが違う。身近な事象をもとに、発生原因、振る舞いをやさしく解説します。
また、福島県に未曾有の被害をもたらした「平成10年8月末豪雨」から
10年経っています。災害で学んだ気象情報や気象予報技術の進化を紹介します。
多数のご来場をお待ちしています。

演題

1 「突風と強風災害」

渡邊 明氏 福島大学理工学群共生システム理工学類教授

2 「平成10年8月末豪雨(栃木・福島)から10年」

—新たな豪雨災害に備えて—

大久保忠之氏 福島地方気象台予報官

2008

とき

10/30(木) 13:30~16:00

ところ

福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」

福島市早稲町1-1 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。